

## ホームページ掲載内容

### 同意の取得について：

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017年2月28日）第5章第12、1（2）イ（ウ）②の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

### 研究課題名：

Magnetic resonance imaging (MRI) 検査におけるオーダー入力時の体内異物見落としの分析

研究責任者：順天堂大学医学部附属浦安病院 放射線科 小杉祐司

研究分担者：順天堂大学医学部附属浦安病院 放射線科 小泉達也

### 研究の意義と目的：

当院において2015年6月よりMRI検査時に問診を実施しています。MRI検査にて体内異物の種類によっては、吸引や熱傷のような重大な事故を引き起こしてしまう危険性があります。当院の検査時の体内異物についての傾向等を分析することでより安全性を向上させることを目的とします。

### 観察研究の方法：

本研究の対象となる患者さんは、西暦2015年6月1日から西暦2018年5月31日の間に当院にてMRI検査を受けた方約50000例です。

利用させていただくカルテ情報は下記です。

MRI検査のオーダーに記載されている体内金属の有無、オーダーされた依頼科、MRI検査時に記載していただいた問診表の体内金属の有無の項目の情報

### 研究実施期間：

倫理委員会承認日 ～ 西暦2020年3月31日

### 被験者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017年2月28日）に従って本研究を実施します。

**個人情報の保護：**

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。  
また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

**利益相反について：**

本研究には、特別な研究資金の助成などはない。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益の衝突」は存在しない。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

**お問い合わせ先：**

順天堂大学医学部附属浦安病院 放射線科  
電話：047-353-3111（内線）3260  
研究担当者：小杉 祐司